

24.【外国人比率】 上位は首都圏・中京・関西圏に多く、集住が特徴を生む

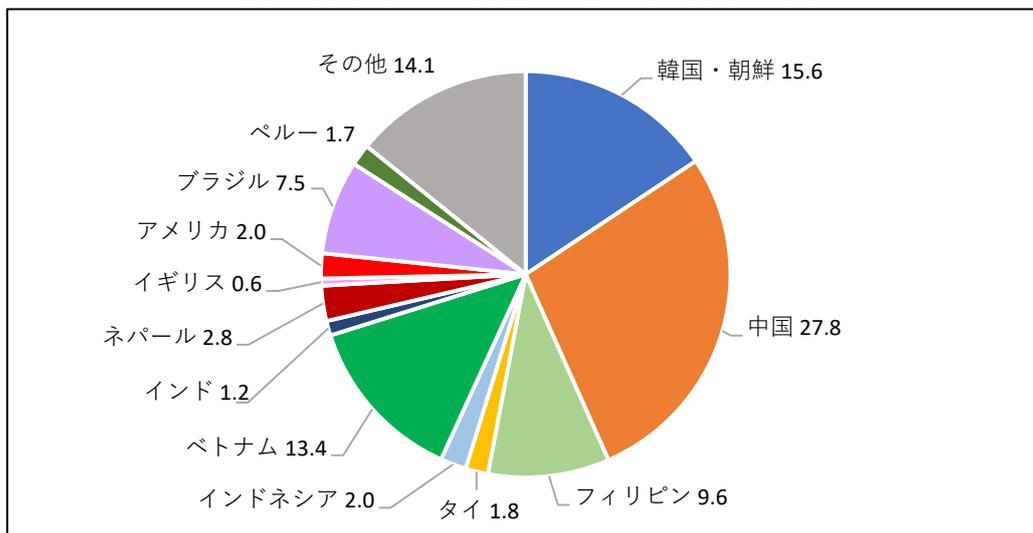
世の中の「グローバル化」は否応なく進み、全国どこへ行っても外国人の姿が見られ、地方自治レベルでも「多文化共生」が施策課題になったりする時代です。外国人との共生は、文化の相互理解や経済面での貢献など多くのメリットがありますが、一部ではトラブルなどの問題も聞かれます。

では、日本国内にどのくらいの外国人がいるのでしょうか。インバウンド観光客などの一時的滞在は除きますが、外国人の「住民」は無視できない数となっています。ここでも国勢調査や住民基本台帳などで微妙な差があるのですが、本稿では令和2年国勢調査での外国人数やその分布状況を見ることにします。国勢調査では、国籍に関わらず既に3カ月以上住んでいるか3カ月以上住むことになっている場合はカウント対象となります。

国勢調査による令和2年の全国の外国人人口は240万人余で、総人口に占める割合は約1.9%です。ただし、ここで少々問題があるのは、近年の国勢調査はプライバシー等様々な理由で全数捕捉の困難性が増していることから、「日本人・外国人の別『不詳』」が220万人余もいることです。従って、外国人数は240万人よりもっと多い可能性もあり、以下の地域別の値においても現実とは微妙に異なる可能性がある点に注意が必要です。

これを念頭に置きつつ、240万人余の国籍が明確な全国の「外国人」の国籍別内訳を見ると、中国が27.8%と最も多く、韓国・朝鮮（15.6%）、ベトナム（13.4%）、フィリピン（9.6%）、ブラジル（7.5%）の順で続きます。東アジアに位置する日本ではやはりアジア各国の割合が圧倒的に多く、欧米諸国は割合としてはわずかです。

全国の外国人人口の国籍別内訳比率（単位：％）



資料：令和2年国勢調査

外国人は、数・率ともに東京都が1位、愛知県が2位

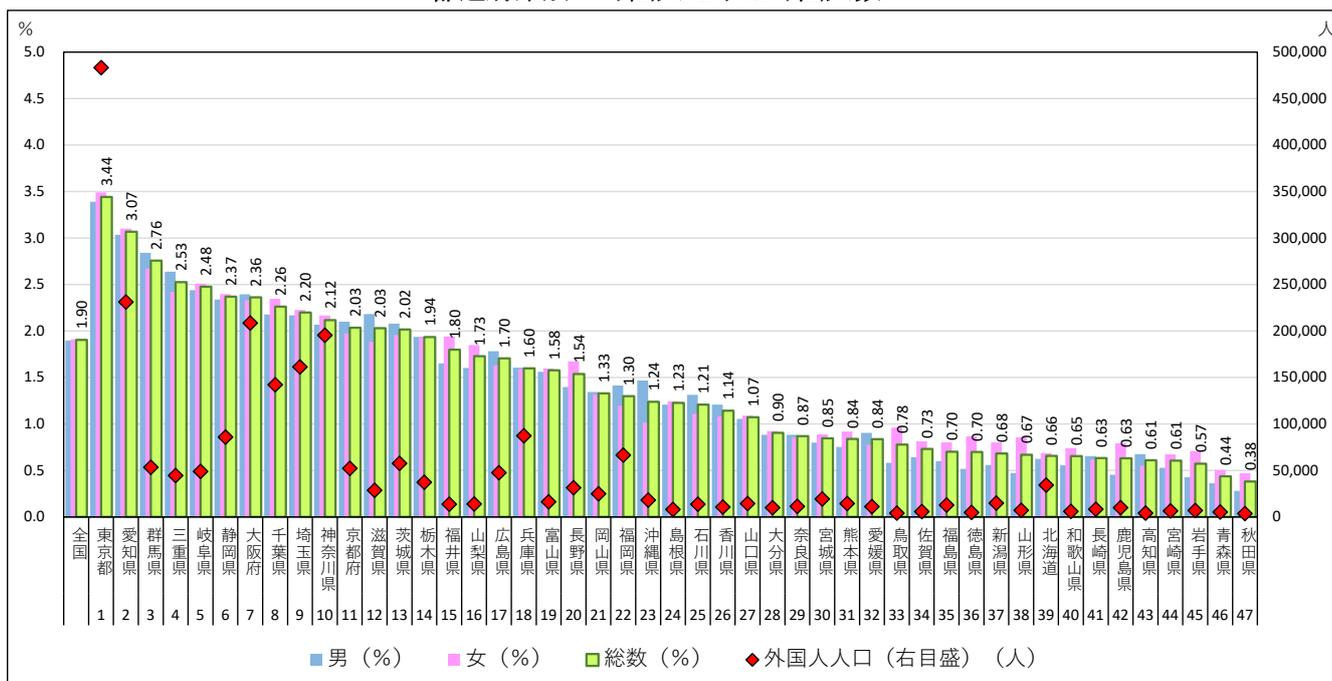
この外国人人口が全人口に占める割合を、まずは都道府県別に見てみましょう。

次の図に示すように、外国人の数が他を圧倒して1位なのは東京都で48万人余、人口に占める割合は3.4%です。2位は数、率ともに愛知県で、数は東京都の半分程度の23万人余ですが、率では約3.1%と100人に3人以上が外国人という状況です。愛知県は日本有数の工業県なのでそこでの雇用

吸収力が外国人も多く引きつけるということなのでしょう。

3位以下は、数と率で順位がかなり異なり、数では大阪府、神奈川県、埼玉県、千葉県の間ですが、人口に占める率では群馬県、三重県、岐阜県、静岡県の間となり、大阪府は7位です。いずれにしても、首都圏、中京圏、関西圏に外国人が多いという状況がよく現れています。なお、図では男女別の比率も併せて示していますが、県によっては男女の割合に大きな差があるところもあります。沖縄、滋賀、福岡県などでは男性の方が比率がかなり高く、逆に福井、長野県などでは女性の比率の方がかなり高くなっています。

都道府県別の外国人比率と外国人数



資料：令和2年国勢調査

特殊事情ある農山村のほかは、東京・中京・大阪圏の市区町村に外国人が集中

次に、市区町村別に見てみましょう。ここでは政令指定都市も行政区単位としており、また、福島県双葉郡8町村と飯館村は東日本大震災・原子力発電所事故の影響により令和2年現在で特殊事情があると判断して対象外とし、比較対象は1,887市区町村です。

次ページに、人口に占める外国人の比率1～50位の市区町村名を外国人人口の値とともに示し、男女別にも上位20位まで同様に示します。また、外国人比率上位50の市区町村の分布を次々ページにマップで示します。

外国人比率が1位なのは長野県川上村の19.0%で、分母の人口が少ないですが、4位の同県南牧村とともに高原野菜の産地で多くの外国人技能実習生を活用しているという特殊事情があります。川上村は特に男性が1位であり、技能実習生の大半が男性のため、前記事(23. 性比)でも同村は女性に対する男性の数の割合(性比)が1位でした。

マップでわかるように、外国人比率上位の市区町村は、やはり首都圏や中京圏、大阪周辺などに多く集中しています。良く知られるように、外国人は国籍ごとに集住してコミュニティを形成する傾向が強く、その結果がこのような地理的偏りとなって表れていると見ることもできるでしょう。

なお、外国人の「数」では東京都江戸川区が1位であり、その数は3万2千人近くに達しています。数の上位20市区町村(5ページの表参照)のうち17が東京都及び埼玉・千葉県内であり、やはり東

京とその周辺が外国人の住む場として圧倒的に選ばれ、「国際化」していると言えます。

市区町村別の「外国人比率」(上位 50)

	(県名)	市区町村名	外国人比率(%)	外国人人口(人)
1	長野	川上村	18.992	825
2	大阪	大阪市生野区	18.582	23,657
3	群馬	大泉町	17.563	7,392
4	長野	南牧村	13.942	452
5	大阪	大阪市浪速区	11.732	8,858
6	北海道	占冠村	11.103	145
7	東京	豊島区	8.479	25,573
8	埼玉	蕨市	8.472	6,293
9	神奈川	横浜市中区	8.394	12,708
10	岐阜	美濃加茂市	8.189	4,642
11	茨城	常総市	7.816	4,755
12	東京	新宿区	7.790	27,216
13	東京	荒川区	7.731	16,814
14	岐阜	可児市	7.337	7,335
15	静岡	菊川市	7.267	3,473
16	大阪	大阪市東成区	7.212	6,123
17	愛知	高浜市	7.136	3,290
18	神奈川	愛川町	7.101	2,831
19	大阪	大阪市中央区	7.032	7,294
20	愛知	碧南市	6.963	5,045
21	大阪	大阪市西成区	6.902	7,324
22	沖縄	恩納村	6.836	743
23	東京	台東区	6.751	14,275
24	東京	港区	6.683	17,409
25	愛知	知立市	6.550	4,729
26	群馬	昭和村	6.271	436
27	岐阜	坂祝町	6.232	503
28	北海道	猿払村	6.166	161
29	愛知	小牧市	6.055	9,011
30	北海道	留寿都村	5.913	113
31	愛知	名古屋市港区	5.770	8,293
32	福井	越前市	5.767	4,649
33	東京	北区	5.734	20,368
34	静岡	湖西市	5.673	3,284
35	滋賀	湖南市	5.661	3,083
36	愛知	名古屋市中区	5.643	5,254
37	群馬	伊勢崎市	5.643	11,955
38	神奈川	川崎市川崎区	5.638	13,134
39	三重	伊賀市	5.625	4,993
40	千葉	富里市	5.531	2,751
41	兵庫	神戸市中央区	5.529	8,156
42	群馬	高山村	5.497	193
43	東京	江東区	5.470	28,682
44	東京	福生市	5.460	3,080
45	北海道	雄武町	5.430	228
46	茨城	鉾田市	5.384	2,474
47	静岡	吉田町	5.377	1,555
48	愛知	飛島村	5.377	246
49	埼玉	川口市	5.316	31,592
50	山梨	中央市	5.273	1,646

同 男性 (上位 20)

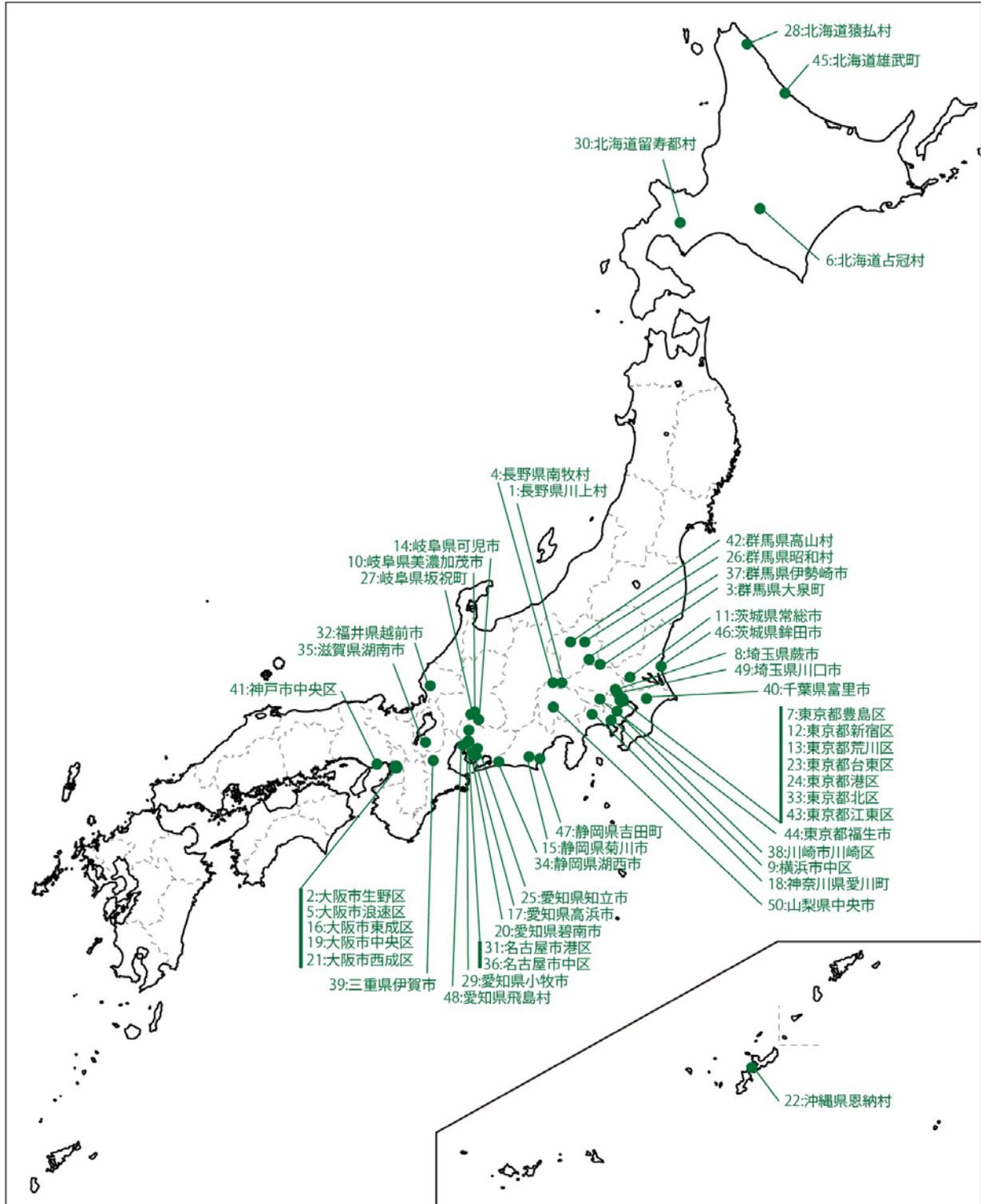
	(県名)	市区町村名	外国人比率(%)	外国人人口(人)
1	長野	川上村	29.950	776
2	長野	南牧村	23.409	423
3	大阪	大阪市生野区	18.433	11,117
4	群馬	大泉町	17.606	3,923
5	北海道	占冠村	12.404	81
6	大阪	大阪市浪速区	11.028	4,234
7	埼玉	蕨市	8.511	3,189
8	愛媛	上島町	8.506	291
9	東京	豊島区	8.421	12,718
10	岐阜	美濃加茂市	8.266	2,326
11	茨城	常総市	8.262	2,517
12	長野	北相木村	8.201	31
13	茨城	八千代町	8.079	888
14	東京	新宿区	7.674	13,416
15	神奈川	横浜市中区	7.629	5,885
16	東京	荒川区	7.502	8,078
17	東京	港区	7.400	9,132
18	岐阜	可児市	7.349	3,616
19	神奈川	愛川町	7.341	1,533
20	愛知	碧南市	7.341	2,737

同 女性 (上位 20)

	(県名)	市区町村名	外国人比率(%)	外国人人口(人)
1	大阪	大阪市生野区	18.716	12,540
2	群馬	大泉町	17.514	3,469
3	大阪	大阪市浪速区	12.460	4,624
4	北海道	占冠村	9.801	64
5	北海道	猿払村	9.502	126
6	神奈川	横浜市中区	9.189	6,823
7	東京	豊島区	8.537	12,855
8	埼玉	蕨市	8.432	3,104
9	大阪	大阪市西成区	8.150	3,652
10	岐阜	美濃加茂市	8.113	2,316
11	東京	荒川区	7.957	8,736
12	東京	新宿区	7.905	13,800
13	大阪	大阪市中央区	7.593	4,180
14	北海道	佐呂間町	7.484	193
15	茨城	常総市	7.369	2,238
16	岐阜	可児市	7.326	3,719
17	北海道	雄武町	7.318	161
18	大阪	大阪市東成区	7.243	3,228
19	静岡	菊川市	7.232	1,708
20	愛知	高浜市	7.152	1,596

資料：令和2年国勢調査

「外国人比率」上位の市区町村マップ（1～50位）（令和2年）



資料：令和2年国勢調査

外国人の「集住」傾向により上位市区町村にはそれぞれ特徴や事情あり

外国人比率1位の川上村が、技能実習生という特殊事情を有するのと同様に、上位の市区町村にはそれぞれ外国人が集まる事情がありそうです。

それを知る手がかりとして、上位の市区町村の外国人の国籍別内訳比率を見ると次ページ下の図のように、特定の国籍の人が集まって住む傾向が顕著なことから、それぞれの「事情」が窺えます。

大阪市生野区は韓国・朝鮮が圧倒的割合を占めますが、コリアンタウンと呼ばれ焼肉店が多く集まる鶴橋駅の南東側一帯にあたる区です。同じ大阪市でも浪速区は中国が半数近くを占め、埼玉県蕨市や東京都豊島区も中国の比重がかなり高い点が共通で、中国系の人々が集住する地であると言えます。

群馬県大泉町は、ブラジルの割合が圧倒的で、ペルーと合わせると約7割です。優良企業の工場を持つ大泉町は、それらで働く労働力としてブラジルやペルーの日系人を誘致してきた経緯があり、「インターナショナルタウン」、「遠くて近いブラジルの町」などとアピールし、サンバカーニバルやブラジル料理等が楽しめる店が多いことでも有名です。

北海道占冠村は「トナム」等で有名なリゾート地で、訪日外国人が多く訪れる人気スポットであることから、それらのサービス人材として様々な国からの人が集まっているとも考えられます。

外国人数1位の東京都江戸川区は、中国に加えてインド・ネパールの割合の多さが目立ち、区南部の西葛西地区は「リトルインド」とも呼ばれ、金融系ITエンジニア等が多いインド人の集住地となっています。西葛西にはインド系食材店が多くあるほか、在日インド人子女が通う学校があることも集住の理由になっているといえそうです。

同2位の埼玉県川口市は「その他」の比重が高いですが、クルド系トルコ人が集住していることで知られ、近年、共生のあり方をめぐるニュースが多く聞かれます。

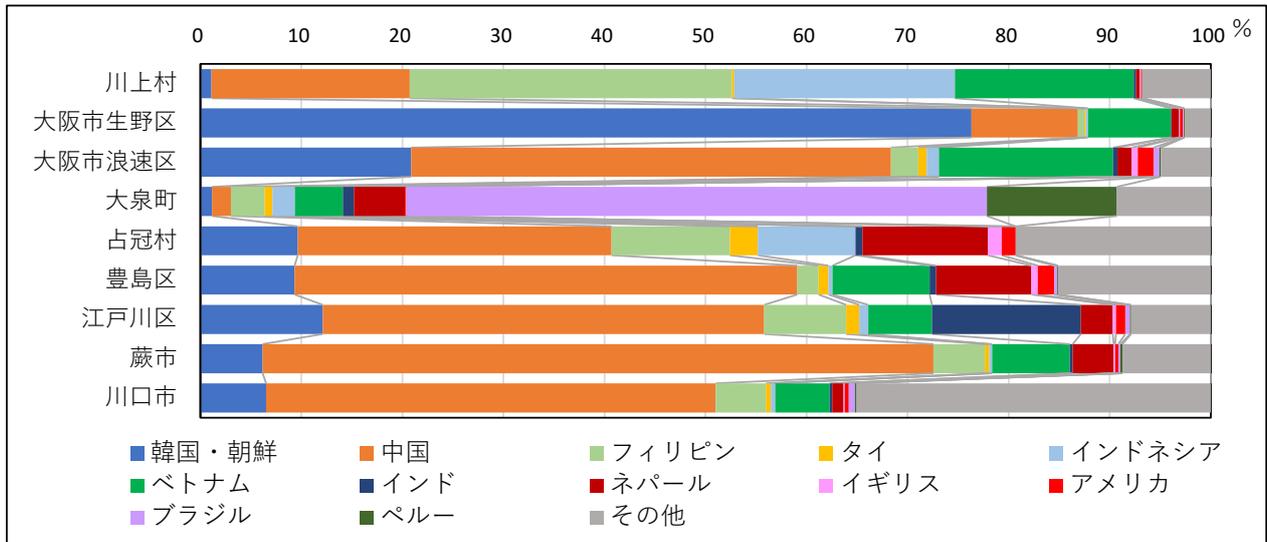
このように、外国人の数や比率が上位のところは、それぞれに特徴や事情があり、共生の考え方も一様ではなく、それぞれに工夫を凝らしていく必要があると言えるでしょう。

市区町村の外国人数（上位20）

	(県名)	市区町村名	外国人比率(%)	外国人人口(人)
1	東京	江戸川区	4.562	31,840
2	埼玉	川口市	5.316	31,592
3	東京	足立区	4.286	29,791
4	東京	江東区	5.470	28,682
5	東京	新宿区	7.790	27,216
6	東京	豊島区	8.479	25,573
7	大阪	大阪市生野区	18.582	23,657
8	東京	板橋区	3.943	23,049
9	東京	世田谷区	2.370	22,364
10	東京	北区	5.734	20,368
11	東京	大田区	2.721	20,358
12	東京	葛飾区	4.244	19,229
13	東京	練馬区	2.409	18,129
14	東京	港区	6.683	17,409
15	愛知	豊橋市	4.548	16,916
16	千葉	船橋市	2.631	16,915
17	東京	荒川区	7.731	16,814
18	愛知	豊田市	3.782	15,974
19	千葉	市川市	3.201	15,899
20	千葉	松戸市	3.114	15,513

資料：令和2年国勢調査

外国人比率・数が上位の市区町村の国籍別内訳割合



資料：令和2年国勢調査